

⑤ 人工呼吸を2回、行い、反応をみる

- 呼吸音や吐息、胸や腹の動きが感じられなかったり、十分でないときは、人工呼吸を2回行い、反応をみます。

人工呼吸の方法

乳児・新生児の場合



救助者の口で子どもの口と鼻をおおい、胸が膨らむ程度に息を吹き込みます。
(吹込みは、乳児の場合1回1～1.5秒、新生児の場合は1回1秒)

幼児(1歳～8歳未満)の場合



子どものおでこに当てた手の指で鼻をつまみ、胸が膨らむ程度に口から息を吹き込みます。(吹込みは1回1～1.5秒)

- ここで、呼吸・せき・動きなどの反応があるときは、人工呼吸を続けます。

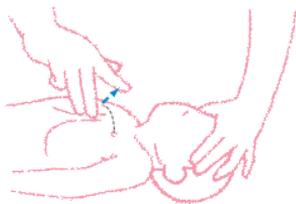
⑥ 心肺蘇生法、を行なう

- 反応がないときは、ただちに心臓マッサージと人工呼吸（左記⑤）を繰り返す「心肺蘇生法」を行ないます。

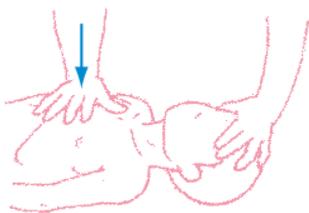
心臓マッサージの方法

乳児・新生児の場合

- 指2本で、胸の厚さ1/3の深さまで圧迫します。
- 乳児の場合、1分間に少なくとも約100回のリズムで圧迫します。
- 新生児の場合、1分間に約120回のリズムで圧迫します。



幼児（1歳～8歳未満）の場合



- 片手で圧迫します。
- 胸の厚さ1/3の深さまで圧迫します。
- 1分間に約100回のリズムで圧迫します。